



社協だより

発行 社会福祉法人佐呂間町社会福祉協議会 老人福祉センター内 TEL 2-3732
saroma-shakyo@hokkaido.email.ne.jp

佐呂間高校 1 学年 総合的な学習の時間 車イス体験学習の実施について



体験は学校の玄関からスタートしました
個人ボランティアが同行しています

5 月 21 日佐呂間高校で、1 年生 36 名が参加した車イス体験授業が実施されました。

これは「高校 1 学年総合的な学習の時間」に町内ボランティアが教師と一緒に同行し、学生は佐呂間市街で車イス体験とその介助をしながら、夢ふうせんやグループホームはなサロマなどの施設体験、遠軽信用金庫や郵便局での利用体験、公共機関での身障者トイレ調査など、様々なコースに分かれて授業に取り組みました。

午後からは、施設やボランティア活動の代表者に協力いただき、福祉施設やボランティア活動の紹介と、ボランティアとして参加を呼びかけるボランティアメニュー紹介が行われました。



車イス観光マップを作成するため
サロマの道の駅へ行ってみました



施設の紹介とボランティア募集をしています
(写真は はなサロマの松尾さんです)



この社協だよりは、共同募金の配分により、発行されています

平成19年度 社会福祉協議会事業活動 実績

本年度多くの町民の方々の深いご理解とご協力をいただき、地域福祉事業やボランティア活動を円滑に推進することができましたことを心よりお礼申し上げます。

今後、これまで以上に地域住民の方々に対し、地域福祉の要といえる社会福祉協議会の理解を深めるよう努め、会費や寄付金の納入について協力を仰いでまいります。

事業名及び事業内容	
1. 小地域ネットワーク活動の推進（実績額296,900円）	設立数 14地区 1,600世帯 事業内容 声かけ訪問、除雪、昼食会、交流会、その他
2. 在宅ひとりぐらし歳末慰問（実績額125,400円）	内 容 年越し料理を民生児童委員又は事務局が、対象者宅に配布 実施日 12月30日、25世帯 33名に実施
3. 在宅ひとりぐらし高齢者の集い（実績額167,111円）	内 容 日帰り旅行、講演会、昼食会等を実施（参加費 一人 300円） 対象者 町内在住の70歳以上の独居老人、年3回実施 延168名参加
4. 在宅ひとりぐらしふれあい郵便（実績額39,310円）	内 容 社協のお便り、小学生のお便り、防犯などの啓発チラシ 対象者 町内在住の70歳以上の独居老人に対し年7回配布
5. 在宅寝たきりオムツ現物支給（実績額358,215円）	内 容 在宅で寝たきりの方にオムツを年2回 延36名に現物支給
6. 在宅ひとりぐらし給食サービス（実績額812,070円）	内 容 週2回（火・金）業者が調理した給食をボランティアが宅配 対象者 虚弱老人世帯、重度身障者世帯に、延1289食を配布
7. 在宅福祉移送サービス（実績額687,108円）	内 容 リフト付きワゴン車で車椅子のまま通院できるサービス。 事業内容 病院への通院・入退院、特養入所、ショートステイ送迎など 対象者 在宅の高齢者か重度の身体障害者で常時寝たきりの方、 又は移動に車椅子が常時必要な方（対象者は町が決定／延84名利用）
8. ホームヘルプサービス事業の推進（実績額19,161,443円）	内 容 介助や家事援助を、介護保険・支援費等利用者にサービス提供 実施日 年中無休、午前6時より午後10時まで
9. ふれあい広場サロマの開催（実績額449,047円）	内 容 障害者やボランティア、各種福祉団体が実施する事業 事業内容 福祉団体のバザー・模擬店、その他（昨年度 13団体 200名参加）
10. 地域老人施設整備助成金	内 容 地域の老人集会所（部落公民館）の備品購入費を助成する制度 助成金額 購入金額の8割を助成（但し16万円を助成限度額とする）
11. 新入学児童祝金の助成	内 容 小学校に入学する困窮世帯に祝金を助成する
12. 高齢者祝金（実績額235,000円）	内 容 米寿と白寿を迎えた方に祝金を贈呈、昨年度 白寿5名、米寿37名
13. 父子家庭児童激励費の助成	内 容 小学生の子を持つ父子家庭に激励費を助成する
14. 法外援護資金の貸付	内 容 主に交通費、食事代などを町外の方に貸し付け。
15. ボ連協だよりの発行（実績額192,780円）	内 容 町内のボランティアによるボランティア情報誌の発行（年3回発行）
16. ボランティア団体への助成（実績額300,000円）	内 容 ボランティア連絡協議会助成
17. 児童生徒ボランティア指定校への助成（実績額50,000円）	内 容 指定校（佐呂間小学校）に対し50,000円を助成
18. 心配ごと相談所の開設（実績額39,000円）	相 談 日 毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時まで（昨年度相談件数26件）
19. 社協だよりの発行（実績額401,625円）	発行回数 年6回発行（町広報に折り込み町民に配布）
20. 社会福祉団体等の育成／援助	
1. 佐呂間町共同募金会	
2. 佐呂間町ボランティア連絡協議会	2,135名
3. 佐呂間町老人クラブ連合会	871名
4. 身体障害者福祉協会佐呂間分会	80名
5. 佐呂間町障害者団体手をつなぐ連絡協議会	
6. 佐呂間町遺族会	98名
7. 佐呂間町母子会	27名
8. 佐呂間町日赤奉仕団	33名
9. 佐呂間町あやめ会	30名
10. 佐呂間町あゆみ会	24名
11. 遠軽地区精神障害者共同作業所	

平成19 佐呂間町社会福祉協議会 年度収支決算について

佐呂間町社会福祉協議会 定款第28条第2項に基づき平成19年度決算書を開示いたします

貸借対照表

資産の部 (単位:円)		負債の部 (単位:円)	
	決算額		決算額
流動資産(A)	5,349,963	流動負債	2,725,617
預貯金	2,784,615	未払金	1,834,948
未収金	2,565,348	預り金	428,742
		仮受金	461,927
固定資産(B)	32,103,549	固定負債	9,669,960
基本財産	1,000,000	退職給与引当金	9,669,960
その他固定資産	31,103,549	負債の部合計(A)	12,395,577
車輛運搬具	9,148,560	純資産の部	
器具及び備品	3,880,974	基本金	1,000,000
ソフトウェア	1,474,410	基本財産基金	
退職共済預け金	7,176,120	国庫補助金等特別積立金	1,348,481
退職共済積立預金	2,493,840	その他の積立金	18,687,974
その他の積立預金	18,687,974	次期繰越活動収支差額	4,021,480
減価償却累計額	△ 11,758,329	純資産の部合計(B)	25,057,935
資産の部合計(A)+(B)	37,453,512	負債及び純資産の部合計(A)+(B)	37,453,512

徘徊高齢者をGPSで 捜すサービスの紹介

徘徊が心配される在宅高齢者の居場所を、GPS発信器により、介護する家族が確認できるサービスが始まりました。

利用対象者

認知症等に伴う徘徊行動がある概ね65歳以上の在宅生活者を介護する家族

※利用には町への申請が必要です

サービス内容

- ①徘徊高齢者の現在位置を探索出来るGPS発信器を貸与
- ②端末機を携帯した高齢者が行方不明になった場合、パソコンや携帯から居場所を確認

利用料金

加入費用(一一,〇〇〇円)は町が負担します
月額基本料(五二五円)は家族で負担頂きます
※月額基本料は、六ヶ月毎(三,一五〇円)にお支払い頂きます

お問い合わせ

役場保健福祉課(211212)
社会福祉協議会(213732)

火災報知器の設置に伴う 悪質訪問販売からの 被害防止について

消防法の改正に伴い、一般住宅への火災報知器設置が義務づけられました。これを悪用した悪質訪問販売による被害が、町内でも心配されております。

社会福祉協議会では、佐呂間町商工会と連携し、在宅独居老人や町内福祉団体に対して注意を呼びかけ被害防止に努めております。

社協の取り組み

毎月独居老人に送付する「ふれあい郵便」による注意呼びかけ

佐呂間町商工会の取り組み

商工会工業部会による「サロマお住まいおまかせ隊」での、町内業者による火災報知器取り扱いの紹介

※参考 町内業者の対応

町内業者を利用した場合、取付料込みで一個当たり五千円〜八千円前後との話ですが、詳細はお問い合わせ下さい。

お問い合わせ

佐呂間町商工会工業部会
電話 213448

資金収支決算内訳表

(単位:円)

事業活動収支計算書						
		勘定科目	予算額	決算額	差異	
決算 の 状	営 活 動 収 入 の 支 出	会費収入	2,648,000	2,624,300	23,700	
		寄附金収入	2,500,000	2,646,000	△ 146,000	
		経常経費補助金収入	17,019,000	16,971,688	47,312	
		助成金収入	87,000	80,550	6,450	
		受託金収入	14,198,000	13,856,339	341,661	
		事業収入	0	45,000	△ 45,000	
		共同募金配分金収入	1,640,000	1,639,345	655	
		負担金収入	390,000	385,800	4,200	
		居宅介護料収入	12,464,000	12,186,789	277,211	
		その他の事業収入	7,327,000	6,927,230	399,770	
		利用料収入	1,512,000	1,452,760	59,240	
		雑収入	30,000	160,856	△ 130,856	
		受取利息配当金収入	1,000	20,177	△ 19,177	
		経営収入計(1)		59,816,000	58,996,834	819,166
		人件費支出	36,869,000	36,267,912	△ 601,088	
		事務費支出	4,093,000	4,083,119	△ 9,881	
		事業費支出	15,962,000	14,912,587	△ 1,049,413	
共同募金配分金事業費	1,000,000	666,085	△ 333,915			
負担金支出	460,000	435,600	△ 24,400			
経営支出計(2)		58,384,000	56,365,303	2,018,697		
経営活動資金収支差異(3)=(1)-(2)		1,432,000	2,631,531	△ 1,199,531		
の 部	収入					
		施設整備等収入計(4)		0	0	0
	支出	その他の固定資産取得支出	986,000	865,000	121,000	
		施設整備等支出計(5)		986,000	865,000	121,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 986,000	△ 865,000	△ 121,000	
状	収入					
		財務収入計(7)		0	0	0
	支出	積立預金積立支出	383,000	4,396,611	△ 4,013,611	
		その他の支出	1,058,000	859,920	198,080	
		流動資産評価減等による資金減少額	0	△ 6,121	6,121	
財務支出計(8)		1,441,000	5,250,410	△ 3,809,410		
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 1,441,000	△ 5,250,410	3,809,410		
予備費(10)		5,000				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 1,000,000	△ 3,483,879	2,488,879		
前期末支払資金残高(12)		1,000,000	6,108,225	△ 5,108,225		
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	2,624,346	△ 2,619,346		

事業活動収支決算内訳表

(単位:円)

事業活動収支計算書						
		勘定科目	当年度決算額	前年度決算額	差異	
決算の状況	事業活動収支の部	収入				
		会費収入	2,624,300	2,537,900	86,400	
		寄附金収入	2,646,000	3,354,430	△ 708,430	
		経常経費補助金収入	16,971,688	16,820,417	151,271	
		助成金収入	80,550	77,950	2,600	
		受託金収入	13,856,339	14,324,909	△ 468,570	
		事業収入	45,000	0	45,000	
		共同募金配分金収入	1,639,345	1,732,744	△ 93,399	
		負担金収入	385,800	351,300	34,500	
		居宅介護料収入	12,186,789	9,630,031	2,556,758	
		その他の事業収入	6,927,230	7,842,761	△ 915,531	
		利用料収入	1,452,760	1,062,700	390,060	
		雑収入	160,856	154,193	6,663	
		国庫補助金等特別積立金取崩額	915,796	646,201	269,595	
	事業活動収入計(1)	59,892,453	58,535,536	1,356,917		
支出						
人件費支出	36,267,912	33,960,532	2,307,380			
事務費支出	4,083,119	3,649,960	433,159			
事業費支出	14,912,587	15,052,623	△ 140,036			
共同募金配分金事業費	666,085	748,405	△ 82,320			
負担金支出	435,600	447,500	△ 11,900			
減価償却費	1,288,733	957,987	330,746			
引当金繰入	1,230,000	1,386,840	△ 156,840			
	事業活動支出計(2)	58,884,036	56,203,847	2,680,189		
	事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	1,008,417	2,331,689	△ 1,323,272		
の状況	事業活動外収支の部	収入				
		受取利息配当金収入	20,177	9,973	10,204	
		その他の収入	6,121	0	6,121	
			事業活動外収入計(4)	26,298	9,973	16,325
		支出				
	事業活動外支出計(5)	0	0	0		
	事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	26,298	9,973	16,325		
	経常収支差額(7)=(3)+(6)	1,034,715	2,341,662	△ 1,306,947		
況	特別収支の部	収入				
		特別収入計(8)	0	0	0	
		支出				
		国庫補助金等特別積立金積立額	640,000	882,000	△ 242,000	
		特別支出計(9)	640,000	882,000	△ 242,000	
	特別収支差額(10)=(8)-(9)	△ 640,000	△ 882,000	242,000		
	当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	394,715	1,459,662	△ 1,064,947		
	法人税、住民税及び事業税(12)					
繰越収支差額の部	繰越	前期繰越活動収支差額(13)	7,653,296	2,197,253	5,456,043	
		当期末繰越活動収支差額(14)=(11)-(12)+(13)	8,048,011	3,656,915	4,391,096	
		基本金取崩額(15)				
		基本金組入額(16)				
		その他の積立金取崩額(17)		4,004,804	△ 4,004,804	
その他の積立金積立額(18)	4,026,531	8,423	4,018,108			
	次期繰越活動収支差額(19)=(14)+(15)-(16)+(17)-(18)	4,021,480	7,653,296	△ 3,631,816		

平成20佐呂間町社会福祉協議会 年度事業計画について

基本方針

近年の地域格差による財政悪化は、社会福祉協議会を取り巻く環境にも影響を与えておりますが、北海道社会福祉協議会が展開する「安心・安全・福祉のまちづくり」の実現に向け、地域住民や関係機関との協働による地域の固有課題や住民の生活課題の解決に努めます。

また、介護保険や障害福祉事業の利用者ニーズに即したサービス提供と、マンパワー確保に向けた研修事業の実施、将来的な展望にたった福祉サービス構築のための調査・研究、住民参加によるボランティア活動の推進を図るなど、地域福祉の中核的な推進役として、幅広い住民の参加と参画を得ながら一層の活動強化に努めてまいります。

平成20度の佐呂間町社協の取り組み

1. 法人運営の機能強化

社協の現状と今後の運営について、役員・関係者等のための研修会開催及び研修会への参加を促進し、社協及び社協役員の役割を把握していただくとともに、保健・福祉・医療等関係機関との情報の共有に努めます。

- ① 役職員の研修会開催や研修会への参加
- ② 保健・福祉・医療等関係機関及び民生児童委員協議会との連携強化
- ③ 理事会・評議員会の開催と定期監査の実施
- ④ 財政基盤の強化と一般財源の確保

2. 福祉事業の推進

地域住民の福祉ニーズに対応した新たな福祉サービス事業の創出を含め、きめ細かい地域福祉サービスの提供に努め、誰でもが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

- ① 在宅福祉各種サービスの実施（移送、給食宅配、オムツ支給等）
- ② ひとり暮らし高齢者福祉事業の実施（ふれあい郵便、集い、歳末慰問等）
- ③ 地域老人施設整備費助成の実施（備品等整備）
- ④ 福祉関係団体の育成・支援
- ⑤ 共同募金事業への協力（赤い羽根、歳末たすけあい運動）
- ⑥ 心配ごと相談等相談支援体制の充実

3. 住民参加の福祉推進事業

地域の福祉課題に対応するためには、地域自らの福祉力の向上が求められるところです。たすけあいチーム未組織地域については引き続き結成に向けた奨励を進めると共に、既に組織されているたすけあいチームにあっては活動推進のための支援を図り、将来的展望を見据えた地域のニーズに対応する新たな地域福祉活動の創出に向けた調査・研究を進めます。

- ① たすけあいチームの結成促進、活動支援
- ② たすけあいチーム代表者会議の開催
- ③ ふれあいサロン事業等実施に向けた調査研究
- ④ ふれあい広場の開催
- ⑤ 生活改善運動の推進

4. 福祉の資金貸付事業の実施

住民が安心して生活できるための事業として、福祉の資金貸付を行ないます。

- ①生活福祉資金貸付相談事業（道社協貸付）
- ②愛情資金貸付事業
- ③法外援助資金貸付

5. 介護保険事業・障害福祉サービス事業の円滑実施

介護予防に重点を置いた介護保険法やサービスの一元化を目指す障害者自立支援事業が実施され、より関係機関との連携や質の高いサービスが求められております。利用者を地域社会の構成員として、住み慣れた地域や家で、その人らしくより良い生活を過ごしていただけるよう支援してまいります。また、関係職員等の研修参加を促進し、能力の向上に努めると共に、人材確保の観点から独自の人材育成研修の実施を目指します。

- ①介護予防訪問介護サービス事業
- ②訪問介護サービス事業
- ③障害福祉サービス事業
- ④町委託事業の受託（安否確認、生活指導）
- ⑤介護職員等の研修及び育成

6. 社会福祉体験とボランティア活動の推進

児童・生徒の福祉意識を高めていただけるよう、福祉の情報と体験の場を提供します。また、突然の災害に備えて行政等関係機関との連携強化に努めると共に、誰もが地域で安心して暮らしていけるように、小地域でのボランティア活動の推進と支援に努めます。

- ①社会福祉体験の実施とボランティア指定校への活動支援
- ②ボランティア連絡協議会との連携・支援
- ③ボランティア講座の開催
- ④企業等の地域貢献活動との連携
- ⑤ボランティア活動への参加促進

7. 広報活動

定期的な広報誌の発行を行ない、行事や事業、各種福祉サービスの啓発を図ると共に、自発的な情報公開に努めます。

- ①社協だよりの発行
- ②ホームページの管理運営

8. 指定管理事業の受託

昨年度に引き続き町から指定管理者として、適切な施設の管理運営に努めます。

- ①老人福祉センターの指定管理
- ②屋内ゲートボール場の指定管理

相談員名簿

岸 本 勲	(学識経験者)
山 口 光 子	(社協理事)
井 上 孝 一	(社協理事)
北 村 舜 襄	(民生児童委員)
今 井 經 二	(行政相談員)
小 池 栄	(社協理事)
河 本 孝 治	(生活支援員)

①まず社協にお電話下さい。
希望の相談員がいる場合は
お名前を、いない場合は相談
内容をお知らせ下さい。

②相談員に連絡し、相談室に
来て頂く時間を決めます。
また直接相談員に電話で相談
することも可能です。

電話番号 2-3732



「ご存じですか?」
心配ごと相談

あたたかいご寄付をありがとうございます

あたたかいご寄付をお寄せいただき、厚くお礼申し上げます。
みなさまのご厚意に感謝し、地域の福祉活動に活用させていただきます
(平成20年2月21日～平成20年5月26日)

◎香典返しを廃して

- ・中野 潔明様 (浜佐呂間)
- ・長屋 カヨ子様 (西 富)
- ・近藤 礼子様 (宮前町)
- ・渡部 ヒロ子様 (仁 倉)
- ・蔦川 恒子様 (知 来)
- ・佐藤 由衛様 (宮前町)
- ・上伊澤 洋様 (宮前町)
- ・佐藤 常男様 (朝 日)
- ・守口 政子様 (中 園)
- ・山内 美恵子様 (西 富)
- ・歳永 守幸様 (北)
- ・辻岡 正年様 (知 来)
- ・加藤 美代子様 (西 富)

- ・平戸 正和様 (中 園)
- ・岸 良子様 (宮前町)
- ・相原 榮喜様 (富 武 士)
- ・岩本 順一様 (富 武 士)
- ・鎌田 昭仁様 (浜佐呂間)
- ・阿部 信夫様 (栃 木)
- ・山本 昭子様 (西 富)
- ・岸 和子様 (永代町)

◎離町に際して

- ・千葉 ハル様 (宮前町)

◎社会福祉事業に対して

- ・佐呂間カラオケあすなる

◎快気祝を廃して

- ・宇佐美 伴子様 (宮前町)

老人クラブ連合会 役員改選について

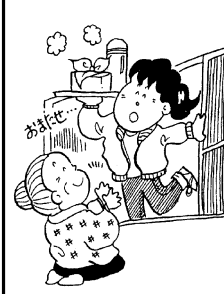
4月30日開催の老連総会において
新年度老連役員が選任されました。

西	西	東	悠	若	富	幌	は	仁	知	朝	武	わ	栃	啓	大	共	武	西	西	共	啓	富	西
中	中	若	北	武	武	岩	ま	倉	来	富	士	か	木	生	成	立	士	中	富	立	生	士	富
富	央	会	友	里	八	田	な	松	河	佐	二	武	遠	櫛	宝	桜	二	佐	垂	橋	櫛	八	井
井	佐	梶	神	久	坂	口	す	本	井	村	藤	神	田	藤	部	里	井	神	木	水	田	部	島
上	木	田	米	上	島	勘	博	四	英	和	宜	勇	秀	重	昌	和	俊	玲	美	秀	寛	一	孝
孝	俊	邦	正	秀	正	寛	一	純	郎	登	昭	義	久	雄	雄	明	治	義	男	子	重	寛	一
一	男	義	雄	夫	明	寛	一	純	郎	登	昭	義	久	雄	雄	明	治	義	男	子	重	寛	一
(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(新)	(再)	(再)	(再)	(新)	(再)	(新)	(再)	(再)	(新)	(再)	(再)	(再)	(新)	(再)	(再)

給食宅配ボランティア ほほえみの会募集

利用者の家に給食を届ける
ボランティアです

対 象 学生から大人まで
活動時間 毎週火曜と金曜
午後4時から5時迄
社会福祉協議会
問い合わせ 電話 2-13732



グループホームはなサロマ ボランティア募集中

お年寄りの話し相手や施設の
手伝いをするボランティアです
対 象 学生から大人まで
活動時間 毎日開所してしますので
希望の活動日・内容を
電話でお知らせ下さい
問い合わせ はなサロマ(松尾)
電話 2-11787

